

(様式1)

第9期介護保険事業計画「取組と目標」(自立支援、介護予防、重度化防止)の報告シート(令和6年度分)

市町村名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				令和6年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
端恋村	地域包括支援センター・地域ケア会議	＜地域包括支援センター＞ ・団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎え、日常生活の支援ニーズや、相談内容は多様なものとなっている。高齢者が可能な限り自立し、住み慣れた地域で暮らせるよう、多様な支援、各事業を推進し、地域福祉の拠点として役割を果たしていく。	・地域福祉の拠点として機能できるよう、周知啓発、必要な人員確保、関係機関との連携を強化していく。 ・高齢者支援に関し、多様な課題、そこから抽出される地域課題等に対し、多職種と共に、地域ケア会議の充実・強化を図っていく。	・地域包括支援センターの周知啓発。 ・地域における多様な関係者とのネットワーク構築、体制整備。	・地域ケア推進会議(1回) ・地域ケア会議(16回) ※内訳: 個別ケア会議4回 要支援高齢者連絡会議12回	達成できた	・地域包括支援センターの周知啓発の推進。 ・地域ケア会議の継続的開催と、専門職・関係機関とのネットワークの構築。
端恋村	在宅医療・介護連携	・医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続し、入院、急変時において、一体的でスムーズな医療・介護サービスの提供をうけられ、本人の望む場所での看取りが叶うよう、医療機関と在宅医療・介護関係職種の連携を推進している。 ・社会資源を共有する、吾妻郡内の町村と共同で、吾妻郡医師会に参画。	・高齢者が住み慣れた地域で、一体的な保健・医療・福祉サービスを受けることができるよう、医療、介護関係者との情報共有や研修等を実施し、在宅医療・介護に関する地域資源の状況や、課題を把握するとともに、「退院調整ルール」等の整備、関係機関との連携を推進していく。	・医師会との情報交換会の開催。 ・郡内合同での研修会の開催。 ・退院調整ルールの合同検討会。	・医師会・郡内合同情報交換会(4回) ・郡内合同研修会(2回)	概ね達成できた	・医師会等との連携強化、情報共有と課題に対する認識の統一。
端恋村	認知症総合支援	認知症に関する相談窓口の認知度が、72.1%が知らないととの調査結果である。窓口の周知徹底や、認知症に関する学びの機会の提供等、支援施策の検討を行う必要がある。	認知症カフェ、認知症介護相談会、認知症初期集中支援の継続 認知症サポーター養成講座、ステップアップ講座の拡充	・認知症に関する相談窓口を知っている人の割合の増加 ・「チームオレンジ」の設置(2025年度) ・認知症対策に関する計画策定(Ⅱ)	認知症カフェ12回 認知症介護相談会9回 認知症キッズサポーター養成講座2回 認知症サポーターステップアップ講座1回	取組内容の実施については実施できており、目標は概ね達成できた。	住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らし続けられる町づくりのために、各種事業の継続と、相談窓口の周知について、継続した取組みを実施する。
端恋村	介護予防・日常生活支援	心身ともに健康で自立した生活が送れるよう、高齢者が活躍できる場の拡充や健康教室の開催、各世代間の交流が図れるような体制整備が必要。	介護予防や健康づくりの取り組みを切れ目なく実施し、適いの場等の住民主体の活動を広げるための取り組みの強化。	介護予防教室の開催 フレイル予防サポーター養成講座の開催 ミニデイの開催	健康塾12回 元氣塾12回 フレイル予防サポーター養成講座 0回 ミニデイ 211回	達成できた	介護予防教室等の継続的開催 ミニデイへの参加者増加に向けた啓発
端恋村	生活支援体制の整備	高齢者が住み慣れた地域で暮らすために参加しやすい活動の場づくりや地域で活躍できるように地域全体で高齢者の生活を支える体制作りが必要	関係機関と連携し地域資源とネットワークを活かし生活コーディネーターおよび協議体の機能強化。	協議体の開催 ボランティア団体の創設	協議体 10回 新規ボランティア 0団体	概ね達成できた	継続的な協議体の開催
端恋村	その他						